

福島12市町村の将来像検討の方向性

- 将来像の実現に向けた、当面(2020年まで)・今後(30～40年後)の課題整理
- 有識者検討会を開催、県・市町村と連携し、将来像を提言
- 地域再生のモデルとなるような総合的な対策で、賑わいを取り戻す

将来像の検討のイメージ

＜当面の課題＞ 「早期に暮らせるように するための方策」

既存計画や人口・線量見通しを整理し、早期復興可能な地域における広域的課題を抽出、検討

2020年の
具体的なビジョン

(課題解決のための施策のイメージ)

- 広域インフラ整備、集約(道路、鉄道、物流等)
- 産業振興(廃炉、ロボット、再生エネルギー等に加え、1次産業や、地域の強みを活かした新産業等)
- 健康・医療(病院拠点、人材確保等)
- 住環境整備(コンパクトシティ、「二点居住」の考え方等)
- 教育、人材育成(出口まで見据えた教育体制・方針)
- 観光(新観光資源・ルートの開発、PR)

＜今後の課題＞ 「子や孫の世代に 繋ぐための方策」

現状では帰還困難な地域を含め、将来に繋ぐために継続実施すべき課題を整理、検討

30～40年後の
将来コンセプト

「今後の生活の希望 となる将来像」

今後の人口動態、産業構造を踏まえた、将来的な自立に向けた地域経済・社会形成のための夢のある将来像

- 住居・生活・コミュニティ
 - 産業・雇用
 - 教育・文化
 - 行政サービス
- 等